

"財政厳しい"というならば 後回しにできるものはストップ! 不要不急の事業の見直しを提案

〈21年度決算〉

東岡崎整備

デッキ中止しながら
再び事業費拡大に

平成28年度に完成予定。総事業費が当初 180 億と言われていたがデッキの見直しで25億~30億減額。しかし、再び 197 億にふくらむ。事業の見直しと名鉄の負担の増額を求める。

旧本多邸復元

造成費 6562 万円
総事業費約 5 億円

市民から批判の強い旧本多邸。2年間で造成(6562万円)。文化財のため市民の活用はできず。「復元ありき」で進めてきた姿勢が問題。

子ども科学館(仮称)

一点豪華な施設より
学校の理科室充実

子ども科学館(ハコモ)建設のための基本構想の策定が作られた。子どもたちの理科の教育のためには、理科室の実験器具や教員の研修に予算付けを。

議会も襟を正して

市民に信頼される議会に

- ◆海外視察廃止 (年1300万円)
- ◆行政視察費廃止 (年680万円)
- ◆グリーン車利用廃止
- ◆議長任期4年に
- ◆政務調査費半分 (年1200万円)
- ◆議員報酬審議会の公開
- ◆議会報告会を開こう
- ☆議員定数削減は
民意の反映に逆効果

悠紀の里 体育館

無形文化財保護は
真に必要なものに

中島町で行われる悠紀斎田。資料保存館だけでなく、練習用にと体育館まで建設し、総事業費8億5千万円の予定。

阿知和工業団地

不況時に不要
中小業者支援こそ

阿知和地域の山を開発して工業団地建設予定。開発による自然破壊も心配。不況時に多額の開発費より、いま困っている業者に、機械リース料補助などの救済を。

プレミアム商品券

利用は大手スーパー
地元商店に利益薄

定額給付金に便乗して10万円で11万円分のプレミア付き商品券を販売。市の負担は3600万円。結局そのうち58%が大手スーパー3社で利用された。

日本共産党の提案でムダをなくしました

伊勢湾口道路中止 建設促進期成同盟会から撤退

官官接待廃止 県議会議員、監査委員への手みやげを廃止

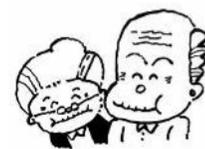
東岡崎駅デッキ計画見直し デッキ計画を市民の声で中止して約30億円節減

ブレない 日本共産党 だから

みなさんとご一緒に実現してきました

- まちバス、矢作循環線、美合線など充実
- 医療費無料制度 (子ども、一人暮らし高齢者、障害者)
- 公立学童 (育成センター) 34館完成
- 妊婦健診無料 7回から14回に拡大
- 学校給食にアレルギー除去食一部実施
- 高齢者の特定健診無料化継続

ただいま 日本共産党は
恒例の「要求アンケート」を行っています



年金で入れる特養がほしい!

教室にクーラーか
扇風機がほしい!



もう6年も契約社員。
正規社員になりたい。

ご要望をお聞かせください。
アンケート用紙はこちらから
<http://okazaki.icpweb.net/>
ご連絡いただければアンケート用紙を
お送りします 23-3337

きまた昭子

(61歳)6期22年目

総務企画委員

東岡崎駅周辺整備特別委員

経歴：農業委員

厚生経済委員長

教育福祉副委員長

交通特別委員長

ごみ問題対策特別副委員長

他



鈴木まさ子

(50歳)4期14年目

福祉病院委員

公共交通対策特別委員

経歴：農業委員

厚生経済副委員長

新図書館建設特別委員長

東海地震等対策特別委員長

行財政検討特別副委員長

他



答弁
 予算編成当時、詳しい情報がえられなかった。検討するが復活は予定がない。

私立高校生授業料補助 4千3百万円で復活
 年間1万2千円
 公立高校の授業料無料化に伴い、私立高校生への国の就学支援金も増額となったが、愛知県が助成額を削減したために収入340万円以上の家庭では、無償とならず公私の格差が拡大した。その情報も得ないうちに岡崎市は、授業料補助金を廃止した。豊田市・刈谷市は増額した。復活を求める。



答弁
 移動販売の有効性も検討したい。市営住宅の自治会の協議でトラブルがない状況なら支援したい。

市営住宅内での許可を
 市営住宅でも高齢者が増加。敷地内での移動販売に許可をすべき。

移動販売で 買い物難民救え
 近くに八百屋さんや肉屋さんがなく、高齢者は買い物に不便。過疎地域で移動販売事業者へ、車のリース料などの補助制度を。



答弁
 実施すればおおむね2億3千万円の財源が生まれる。何でも引き上げていいという理解ではない。



もうかっている企業には 税率引き上げ財源確保
 全国で7%の自治体を実施している。県下では知立市など13市1町。岡崎でも法人市民税の税率を法定上限いっぱい14.7%に引き上げて財源を確保し、市民サービス向上に使うべき。

答弁
 子どもの保険料軽減を実施するには1億360万円必要。高齢障害者が増加の一途、制度的確な運用と維持を図るのがつとめだと考える。

高齢者医療費無料に
 一人暮らしの高齢者（非課税）は医療費無料。高齢者非課税世帯でも無料化を。

国保料 18歳未満3割軽減を
 高すぎる国民健康保険料。所得の10%となる。社会保険では子どもに対する保険料はない。一宮市では、18歳未満の子どもの均等割を3割軽減した。岡崎市でも実施を。

総合学習センター(旧アイプラザ)

市民活動が制限されたいへん

不特定多数を集める催し物には貸さない。これまでより利用料が高くなる。詳細な図面が公開されない。

国保会計補正(コンピュータ改修調査)

年齢による保険差別、広域化に反対

後期高齢者医療制度廃止し国保に戻すが、75歳以上の保険料や医療の差別・広域化はそのまま。

岡崎市都市計画→西三河都市計画

市の権限薄くなり、財界要求の広域化

名称変更で都市計画を広域化するもの。市の権限が薄くなり、大企業に都合のいい都市計画となる。

全27議案中
 市民の利益に反する3議案に反対

請願の紹介議員になりました

子どもの髄膜炎を予防するための予防接種に助成を求める請願。

セフワクチンに助成を

子宮頸ガンにワクチンに助成を

ワクチンで予防できる子宮頸ガン。接種費用の助成を求める。